

令和7年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施 設 名	新潟市舞平清掃センター附属休憩所		
管 理 者 名	旭ビル管理株式会社	指 定 期 間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
担 当 課	環境部循環社会推進課（担当：舞平清掃センター）		
所 在 地	新潟市江南区平賀161番地1		
根 拠 法 令	地方自治法第244条の2第3項		
設 置 条 例	新潟市廃棄物処理施設附属施設条例		
施 設 概 要	敷地面積12,592㎡，建築面積792.43㎡（鉄骨造平屋建） 主な施設内容 男女浴室，休憩室（21+18）畳，多目的ホール326.12㎡（バドミントン，卓球，エアロバイク，会議，研修会など可能），芝生広場，駐車場40台		

施 設 設 置 目 的
舞平清掃センターの汚泥再生処理工程で発生するメタンガスを熱源として有効利用した施設であり、地域住民のレクリエーション施設として健康増進と憩いの場を提供することを目的として設置。
管 理 ・ 運 営 に 関 する 基 本 理 念 ， 方 針 等
①適切な施設の管理・運営を行い、利用者に快適な場を提供する。 ②機器の保守に努め、故障等を未然に防ぐ。 ③浴室があることから関連する諸基準等を遵守し、より衛生面に配慮する。 ④樹木・芝生等の緑の充実を図る。 ⑤効率的かつ効果的な管理運営を行い、経費節減に努めること。 ⑥新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について 守秘義務を遵守すること。 ⑦PR等により利用者の増加を図る。 ⑧自主事業の充実により利用者の増加を図る。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	施設利用者を中心に自主事業等の案内周知26回、パンフレット配布200部以上	掲示による案内周知は「変わり湯」、「夏祭り」等の12回実施、パンフレットは施設利用者の他、近隣の保育園、当社従業員及び取引先等へ計250部を配布	B	館内掲示や利用者への声掛けなどで周知をしていた
	目標利用者数の達成	年間利用者数20,600人以上	7年度利用者26,887人	A	過去最高の昨年度を上回る利用者数達成
	設置目的に合致したサービス提供	予定した26の自主事業を実施したか。芝生広場・多目的ホールの有効活用は図られたか	自主事業は23事業を実施、多目的ホールの専有利用時間は当初の目標を達成し、対前年57.3%増加	C	未実施事業もあったが、多目的ホールの有効利用は図られている
	苦情・要望に対する対応	苦情や要望に随時検討し必要な対策を実施、その内容等を館内掲示したか	適切に対応	B	苦情に対し運営会議で協議し対応策を実施していた
財 務	管理運営経費の削減	1日1人当たりの使用量過去3年平均以下（電気1.32Kwh, ガス0.83m ³ , 水道0.25m ³ ）	1日1人当たりの使用量（電気1.17Kwh, ガス0.84m ³ , 水道0.23m ³ ）	C	ガスのみ目標達成できなかった
	市の歳入の確保	使用料収入を年間2,077千円以上	7年度歳入額合計2,710千円	B	
業 務	改善勧告時の対応の迅速さ・適切さ	担当課からの勧告・依頼に迅速に対応したか	適切に対応	A	熱中症予防の注意喚起、現地監査対応を適切に実施
	安全責任者の配置と安全確保体制の確立	事業計画に基づき30分毎の浴室巡視を実施したか	適切に実施	B	
	事件・事故発生時の対応の適切さ	事故等が生じた場合速やかに対応したか	適切に対応	B	湯あたりした利用者や券売機故障を適切に対処した
	衛生管理の徹底をはじめ、業務仕様書等に定める事項の遵守	衛生管理に必要な事項をはじめ、その他業務仕様書等に定める事項の遵守	適切に実施	B	
人 材	配置人員のスキル習熟	スキルアップのための教育や研修年12回以上	月1回の運営会議で接遇教育を合わせて実施	B	
	職員間において、情報の共有化	勤務員全員参加の運営会議を月1回実施し、情報共有が図られているか	運営会議を月1回開催、勤務員全員が参加し情報を共有	B	
	配置人員の労働条件	労働関係法令の遵守	適切に実施	B	

【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B:要求水準(評価指標)が達成されている

C:要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。（評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。）

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

令和7年度も利用者数及び使用料収入は目標を達成し、6年度に記録した過去最高を更新できました。自主事業は予定した26事業に対して23事業しか実施できませんでしたが、多目的ホールの専有利用率は昨年度の約1.5倍となりました。また、エネルギー使用量は1日1人あたりの使用量はほぼ目標を達成できました。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和7年4月1日から「公の施設の受益者負担の設定基準」策定により使用料が改定されましたが、事前周知をしっかりといただき利用者数にも影響はなく年々増加傾向で推移しています。特に多目的ホールの有効利用が図られており空きがない日が多くなってきました。夏場熱中症警戒アラートが発令された日は11時と15時に館内放送で利用者へ注意喚起していただくなど、高齢者の多い施設であるため事故防止や衛生管理に重点を置いて取り組んでいただいた。